

早稲田大学 政治経済学部 日本史 講評

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	60分
特徴・その他	大問数5題、小問数47問は例年通り。記述問題が11問、選択問題35問(内訳は正誤7問・語句選択28問)、論述問題1問。選択問題は正誤形式が減り、組合せ・年代配列形式が姿を消した。また二つ選ぶ形式が4問から1問に減った。時代別では古代～近世、幕末、明治、明治・大正、戦後の5題で、昨年度に続き昭和戦前がないなど、ほぼ例年通り。分野別では昨年度は政治史の割合が低かったが、今年度は半分が政治史、次いで外交史、社会経済史ときて、文化史が少量となっている。昨年度同様第Ⅰ問では地図が使用された。昨年度第Ⅱ～Ⅴ問は史料形式の問題(第Ⅳ問は表も使用)であったが、今年度は第Ⅱ・Ⅲ(表も使用)・Ⅴ問が史料形式の問題で、第Ⅳ問は対話文からなる新傾向の問題であった。史料は6種用いられた。論述問題は例年同様120字(2014年度は100字)。全体的なレベルはやや難である。未見史料の多出や論述などボリュームがあり、試験時間60分は時間的余裕がない。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	古代～近世初期の貨幣史 <日本地図>	A 問1:難問。オが正解。富本銭が最初に出土したのは飛鳥池遺跡ではなく平城京跡である。問2:イが誤り。「相模国」ではなく武蔵国。問3:やや難。オが正解。尾張国郡司百姓等解は一条天皇治世下の988年。ちなみに、エ『後撰和歌集』は村上天皇の治世に編纂された。問4:アが正解。唐の開元通宝は早稲田大学頻出事項の一つである。問5:ウが誤り。「青磁・白磁」は鎌倉時代に多く輸入され、唐物として珍重された。問6:イ・エが誤り。洪武・永楽・宣徳通宝の3種類の明銭は基本事項。問7:オが誤り。明銭以外において、一定の悪銭の流通は禁止するが、それ以外の銭の流通は強制された。問8:オが誤り。銀札は江戸時代に使用された藩札の一種である。 B 問9:やや難。「後醍醐天皇」が正解。乾坤通宝の鑄造を計画していた。問10:「石見銀山[石見大森銀山]」が正解。地図が指し示しているのは中国地方の石見国(現在の島根県)である。	標準
II	幕末の対外関係 <史料>	2016年度も第Ⅱ問は幕末の対外関係からの出題であった。 A 問i:やや難。bが正解。清と英・仏連合軍の戦争であるアロー戦争について、1858年に天津条約を締結し、さらに清が屈服すると1860年に北京条約を結んだ。問ii:eが正解。慶賀使は徳川将軍の代替わりごとに琉球王国が江戸に送った使節なので、オランダとは関係がない。問iii:cが正解。尾形光琳の八橋蒔絵螺鈿硯箱と区別しておこう。問iv:aが正解。志筑忠雄が「鎖国論」の題で訳した。問v:やや難。dが正解。史料がやや読み取りにくい貿易に関する話題はない。問vi:難問。aが正解。1860～1868年の出来事でないものを選ぶ。安政の大地震は1854～55年に発生している。bは1862年、cは1864年、dは1867年、eは1868年。問vii:dが正解。新見正興は1860年、日米修好通商条約の批准書交換のため渡米。問viii:やや難。eが正解。福沢諭吉のことを指しているので「脱亜論」となる。	標準

番号	出題内容	コメント	難易度
II		B 問ix:「蕃書調所」が正解。1857年に開校した蕃書調所は1862年に洋書調所と改称する。問x:「阿部正弘」が正解。阿部正弘中心の幕政改革を安政の改革という。問xi:「長崎・下田・箱館」が正解。鎖国下における長崎と、日米和親条約により開港した下田・箱館である。	
III	明治時代の経済・外交 <史料>	A 問1:bが正解。史料は「1894年」のものであり、三国干渉は翌年の出来事である。問2:dが正解。1894年、日清戦争の契機となった甲午農民戦争。問3:eが正解。1897年の八幡製鉄所の設立も時期的にあとの事項である。B:120字の論述問題。史料読解、表中の数字に言及、条件との関連付け、指定語句4つを選択した上での使用など難度の高いものであった。	難
IV	明治・大正時代の政治	<p>会話形式・空欄補充問題など新傾向。</p> <p>A 問1:(あ)ーへ、(う)ーリが正解。(あ)第二次桂内閣のもとで1910年に韓国併合、1911年に条約改正が達成された。(う)第二次西園寺内閣を倒閣に追い込んだのは陸軍二個師団増設問題。問2:(い)ー二、(え)ーロが正解。(い)西園寺を総裁としたのは立憲政友会。(え)第二次大隈内閣の与党なので立憲同志会。</p> <p>B 問1:(a)ーカ、(b)ーハ、(c)ーホ、(d)ーナ、(e)ーチ、(f)ーリが正解。(a)第二次桂内閣で条約改正を達成した外相は小村寿太郎、(b)大正時代には亡くなっており政党化の流れを支持していたのは伊藤博文、(c)二個師団増設問題で陸相を辞任したのは上原勇作、(d)山県閥で朝鮮総督は寺内正毅、(e)犬養とともに第一次護憲運動を担ったのは尾崎行雄、(f)立憲同志会を結党した総裁は加藤高明。問2:「工場法」が正解。労働者を守る社会立法は工場法。問3:「若槻礼次郎」が正解。金解禁政策を引き継ぎ、推進した首相は若槻礼次郎。問4:「軍人勅諭」が正解。政党の軍への浸透を防止するために明治天皇が陸海軍に下したのは軍人勅諭。</p>	標準
V	戦後の政治・経済・外交 <史料>	A 問1:「あ」が正解。民社党[民主社会党]は日本社会党から脱党し、1960年に結成された。問2:難問。「う」が正しい。1960～1963年の出来事を選ぶ。あ「カラーテレビ」の普及率が90%を超えるのは1970年代、い「神武景気」は1955～57年、え「なべ底不況」は1958年、お「自動車」の輸出が伸びるのは1970年代以降なのでそれぞれ誤り。問3:難問。「え」が正解。【史料2】中に「寛容と忍耐」とあるので池田勇人と判断できるが、経歴関係の薄いものを選ぶのは無理であろう。問4:難問。「お」が正しい。新長期経済計画は1957年、岸内閣によって策定された。問5:やや難。「い」が正しい。池田内閣は1962年に新産業都市建設促進法を公布するとともに、全国総合開発計画を策定した。教科書を熟読していれば答えられたであろう。問6:「え」が正解。変動為替相場移行は田中内閣時の1973年。問7:「い」が正しい。柳宗悦は民芸運動の先駆者であり、朝鮮の陶磁器や芸術にも理解を深めた。早稲田大学頻出事項の一つである。問8:やや難。「お」が正しい。「紫禁城」の作品から梅原龍三郎を推測したい。	やや難

番号	出題内容	コメント	難易度
V		B 問9:「浅沼稻次郎」が正解。1960年・空欄(1)＝日本社会党委員長・刺殺から、早稲田大学卒業の浅沼稻次郎は正解したい。問10:「国民所得倍増計画」が正解。池田内閣の政策。問11:「消費税」が正解。財政再建・1989年・漢字3文字から消費税と判断できるだろう。	

[総合コメント]

論述問題の出題分野は「自由民権期の政党」(2010年度)、「55年体制崩壊後の連立内閣」(2011年度)、「多党化現象」(2012年度)、「55年体制の成立」(2013年度)と政治分野が4年続き、「金解禁の経緯」(2014年度)、「1990年代の日本経済」(2015年度)と経済分野が2年続き、「安保問題」(2016年度)外交分野、「大正時代の経済社会状況」(2017年度)経済分野と続く。今年度の「明治時代の経済と貿易」では、昨年度同様与えられた表を参照・言及し、加えてさまざまな条件を考慮しながら文章をまとめることが必要とされており難度が高い。また、橋本龍太郎内閣が2014年度は外交分野で、2015年度は経済分野で扱われており、現在の政治・経済状況や国際環境を踏まえると、橋本内閣の位置づけには注意が必要である。さらに、2015年度は小泉首相の、2016年度は第1次安倍晋三内閣の所信表明演説が出され、さらに「アベノミクス」を答えさせるなど、出題範囲は現在にまで及ぶようになっている。現在の政治・経済・外交に問題意識を持って学習しよう。